

Kyo

京丹後市議会だより

tango



朝霧の立岩 写真提供：笠井 昭宏さん（弥栄町）



Schedule

- 2月25日 本会議（招集日）
- 3月10日 本会議（代表・一般質問）
- 3月11日 本会議（一般質問）
- 3月12日 本会議（一般質問、議案審査）
- 3月27日 本会議（最終日）



Photo

令和8年5月発行 京丹後市議会だよりの表紙写真（発行時期にあった写真）を募集します。

お問い合わせは議会事務局へ

☎ 0772-69-0010

✉ gikaisomu@city.kyotango.lg.jp



京丹後市議会

議長あいさつ



京丹後市議会
議長 中野 勝友

安心して、健やかに、

笑顔で暮らせる京丹後に

皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、世界情勢の不安定さが続き、物価高などにより、暮らしへの影響や先行きへの不安を感じる場面も多い一年でした。

京丹後市では、将来のまちづくりを見据えながら、道路や交通、子育て・教育、医療・福祉、地域産業の振興など、日々の暮らしの安心につながる取り組みを着実に進めていくことが大切だと考えています。

また、都市拠点のあり方をめぐる議論が大きなテーマとなりました。市民の皆様の利便性、地域の活力、そして将来世代への責任をしっかりと見据え、拠点の機能や役割をどうしていくべきか、これからも丁寧に話し合いを重ねてまいります。

京丹後市議会では、3つの常任委員会がそれぞれ政策提言に取り組み、現場の声に耳を傾けながら、課題の解決や市政の改善につながる提案を行ってまいります。議会として、より開かれた議論を行い、分かりやすい情報発信にも努め、市民の皆様と一緒に歩む姿勢を大切にしていきたいと思います。

本年は丙午（ひのえうま）にあたり、前へ進む力を象徴するとされています。変化の大きい時代だからこそ、誰もが安心して健やかに、笑顔で暮らせる京丹後を目指し、議会として責任を果たしてまいります。

12月定例会 令和7年度主な補正予算

病院事業会計補正予算 (第2号)

病院事業債の起債限度額を
11億3600万円追加

全員賛成
で可決

意見交換

市立病院は地域医療の最後の砦として、不採算部門を担っている。

問 病院事業債について、資金不足比率が計画より悪化している中で借入に問題はないのか。
答 計画策定後に人件費、光熱水費や医療機器修繕費の増加など新たに生じた。今回の借入は最長15年のため、年当たりの負担を抑えながら、改善を進め資金不足の解消を図っていく。

賛成討論

○緊急的な病院事業債は、市民が適切な医療サービスを受け、健康など安全を保障する医療提供体制を維持するために不可欠だ。
○市立病院の経営は非常に厳しく、資金繰り支援として創設された病院事業債は、病院を維持するために欠かせない。

一般会計補正予算 (第7号)

1億5495万円

新最終処分場整備関連経費、峰山クリーンセンター設備維持工事、高齢者带状疱疹予防接種経費、丹後中学校バリアフリー化改修設計など

全員賛成
で可決

意見交換

問 峰山クリーンセンター設備の不具合による市民への影響はないか。
答 現在は調整しながら運転しているが、安定稼働のため早期更新が必要。その状況も見ながらしっかりとこみの受け入れは行っていきたい。
問 丹後中学校のバリアフリー化改修の完了予定と工事費は。
答 6月着工、11月完了予定。工事費は概算で3〜4千万円程度。
問 全校的な整備として行うのか。また財源は国の補助も見込まれるのか。
答 今回、対象児童の入学が決まったため計上。全ての学校でバリアフリー化が完了している訳ではない。財源は国庫補助を想定している。
問 带状疱疹ワクチンの接種率や種類の状況は。

問 10月末で781人接種。そのうち生ワクチン191人、不活化ワクチン590人。接種率が高まった要因は、公費負担が1回限りであることや民間事業者の勧奨がある。
問 今後増加傾向が続くと予算負担が増える可能性があるか。
答 全国と同様に単価の3割を本人負担、残りを公費で対応。今後実績を見ながら予算化していく。
中学校施設改修事業は、インクルーシブ教育の推進に不可欠。工事完了までの教員の負担やリスクを軽減するための安全な支援体制の検討や長寿命化計画の着実な実行と、バリアフリー化を含む施設整備を計画的に進めることを求める。

主な条例審査

網野すこやかセンター 維持管理費高騰のため入浴料改定へ

賛成多数
で可決

概要

維持管理費の高騰で赤字が続くため入浴料を改定。

- ・市民60歳以上：190円→**250円**
- ・市民60歳未満：290円→**380円**
- ・市外：590円→**600円**

利用者説明会(11/8)でおおむね理解。

主な質疑

問 高齢者にとって約3割の値上げは負担が大きいのでは。

答 維持管理費が大幅に高騰しており費用の適正な負担をお願いするものである。

問 赤字の状況は。

答 年間約540万円の赤字。値上げ後も赤字は残るが、収支改善が見込まれる。

問 利用者を増やす具体的な努力は。

答 友の会と協力したPRや、市の介護予防事業との連携などを進めている。また、ボランティアの協力で人件費を抑える努力も継続している。

賛成討論

物価高騰により維持費が増えており、料金改定はやむを得ない。今後は、孫世代と一緒に利用しやすくするなど、さらなる活性化策に期待する。

宇川保育所 令和8年3月末で閉所

賛成多数
で可決

概要

令和8年度の入所申込がなく、今後も利用見込みがないため、宇川保育所を令和8年3月31日で閉所する改正。保護者・区長会などへ説明し反対意見なし。

予算として、運営費約2300万円減、一方で通園支援は約150万円増見込み。

主な質疑

問 休所ではなく閉所の理由は。

答 今後も児童数が増える見込みがなく、施設維持のコストもかかるため。

問 通園バスの安全性は。

答 3歳以上を対象に、運転手と支援員の2名体制で運行。0〜2歳児については、保護者による送迎をお願いしており、了承をいただいている。

問 子ども達はなじめるのか。

答 すでにバスを使った相互交流を行っている。また、顔なじみの先生と一緒に異動させるなど、子どもたちが安心できる環境づくりに努める。

意見交換

深刻な過疎化による保護者の要望を受け宇川保育所を廃止するにあたり、子どもの通園負担軽減と、地域と連携した施設跡地の有効活用を求める。

消防団に新制度 OB活用で地域を守る機能別団員を導入

全員賛成
で可決

概要

人口減少などの中、消防力を維持するため。

- ・条例定員：1730人→**1538人**
- ・組織再編：宇川地域の分団統合、弥栄方面隊の部統合など
- ・機能別団員制度創設

主な質疑

問 機能別団員とは。

答 主に消防団のOBを想定。有事の際にベテランの力を借りる仕組み。

問 定員数減の影響は。

答 現状に合わせ組織を統合し、団員が少ない地域の体制を強化する。

問 交付税への影響は。

答 実態に合わない定員を維持するための市の持ち出し費用が減り、財政負担は軽減される。

賛成討論

団員減少という課題に対し、組織統合による広域化で出動体制を確保しつつ、機能別団員制度によって負担軽減と防災力の向上を両立させる現実的な改正である。



2026年 出初式



そのほかの
トピック

丹後半島森林公園(スイス村)の指定管理、1年延長へ

この1年間で抜本的なあり方を検討することを前提に賛成多数で可決しました。



市政を問う!



12月定例会 一般質問

一般質問は、**令和7年12月10日、11日、12日**の日程で行い、**18人の議員が質問**し市長などに答弁を求めました。

一般質問とは？

市政運営全般にわたり、議員が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます。



京丹後市議会

検索

<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>

一般質問



政 溪 会

ひがしだ まき
東田真希

録画配信は
こちら



- 問** 管理不全空き家が代執行となれば市に負担も生じる。所有者が早期に除却へ踏み切れるよう補助金増額など支援を強化できないか。
- 市長** 空き家は所有者管理が基本。補助金増額は実績から効果が限定的。悪化前の対応を重視し、制度全体の見直しも必要と考える。
- 問** 空き家改修補助の対象を移住者だけでなく市内在住者にも広げられないか。利活用促進、子育て支援にもつなげる。
- 市長** 空き家の高止まりや利活用促進から有効と考える。市独自支援を研究する。
- 問** 空き家抑制は早期に所有者や家族で話し合うことが重要。啓発を。
- 市長** 啓発は重要。地域連携を強化し、サロンなどへの出前

空き家問題の対応強化を

- 問** 幼少期からの読書習慣をト後も継続的支援が必要だ。次の段階としてブックセカンドを検討できないか。
- 教育長** 読書習慣や子どもの感性・創造力育成に大変意義深い。実現に向け検討していく。
- 講座や固定資産税納税通知への啓発チラシ配布など進める。



宿泊施設に生まれ変わった空き家

一般質問



政 溪 会

わ だ すすむ
和 田 晋

録画配信は
こちら



問 本市の観光振興において、観光公社はソフト施策の中核を担う重要な組織。業務が増加する中、観光公社は現在の体制で十分に機能しているのか。

市長 観光公社の業務は多様化しており、専門性が必要とされる業務が増加しているが、人材の確保が十分でない。特定分野では公社単独で人材を集めることが難しい状況にあり、市としてできる限りの支援をしながら、取り組みを進めたい。

問 宿泊税導入は不安の声が大きい。導入是非の前に、事業者との丁寧な対話を積み重ねることが重要。現在の検討状況はどうか。

市長 現在、観光公社の理事会で宿泊税の導入について議論・検討が進められており、近くその結果が報告される

市長の観光ビジョンを問う



観光産業への積極的な政策投資を

予定。宿泊事業者を対象にアンケートを実施するなど、現場の意見を聞き丁寧に進める必要がある。

問 本市観光の方向性について、市長のビジョンは。

市長 観光振興計画の中心は通年型観光。美食や健康長寿など、本市特有の地域資源を生かし滞在型の観光地を目指す。そのために必要な支援は惜しまない。

一般質問



政 溪 会

こまき ひろゆき
小 牧 裕 幸

録画配信は
こちら



問 厳しい財政状況の中、人件費上昇の対応策は。

市長 近畿市長会として、国へ交付税措置でしっかり手当していただくよう要請活動を行っている。業務改善やDX、フリーアドレスによる効果など、効率的な業務推進、適正な人員配置を行い、時間外勤務を縮減、人件費の抑制につなげたい。

問 新たな歳入の検討は。

市長 宿泊税を検討している。また、使用料は令和8年度にかけて見直しを検討している。ふるさと納税のさらなる充実を目指す。

職員確保の現状

問 採用実績については。

市長 一般事務職については、ほぼ計画に近い採用ができています。技術職員は、近年採用できていない。

財政強靱化戦略の進捗は



京丹後市役所峰山庁舎2号館

問 人材確保は、最重要課題であると考えているが。

市長 働きやすい市役所づくりを進めている。職員の声を聞き、創造性のある仕事が多角的に取り組み、ワークライフバランスを大切に、日本一働きがいのある職場づくりと、生産性の向上を全庁あげて取り組んでいる。魅力のある職場づくりで、人材確保の好循環を作っていきたい。

一般質問



政 溪 会

た に つ の ぶ ゆ き
谷 津 伸 幸

録画配信は
こちら



審議会の公平な運営と議決の尊重を

問 審議会答申を盾に一部職員などによる議会軽視の言動が見受けられる。二元代表制の原則に対する市長の認識は。

市長 答申は尊重するが、議会を拘束するものではない。議事を軽視する議論はあつてはならない。

問 影響力のある委員の発言に、他の委員が委縮している。事務局が正さないのは「不作為」ではないか。

市長 そのような事実は把握していない。委員は自由に発言すべきだが、公平な運営への配慮は必要だ。

浅茂川温泉プール再生と学校利用の検討を

問 プール閉鎖は市民の健康損失だ。存続の可否を科学的

既存施設の有効活用を



閉鎖により荒廃する市民プール

根拠に基づき判断すべき。

市長 耐震診断に多額の費用が見込まれるため、現段階では実施していない。

問 学校プールを民間委託せず、市民の健康増進と学校利用として、再生するのが合理的ではないか。

市長 健康利用や学校活用も視野に、さまざまな選択肢を検討会で議論し、提言を受け適切に判断する。

一般質問



政 溪 会

さ く ら い ゆ う さ く
櫻 井 祐 策

録画配信は
こちら



問 高市政権が市政運営や予算編成に及ぼす影響は。

市長 総合経済対策18兆円や重点支援地方交付金を活用していく。一方で、「ガソリン暫定税率廃止」や「年収の壁の178万円へ引き上げ」による地方の財源への補填を要請していく。

問 産業連関表の現状と本市のGDP、地方公会計制度の考えは。

市長 産業連関表は、新経済戦略の策定で産業構造把握のために活用している。また、本市の市内総生産額（GDP）は、約1706億円。財務諸表の作成はしているが、分析活用は作業負荷が高く、課題である。

都市拠点公共施設

問 都市拠点公共施設整備の

地域課題解決には異次元の地域経済で活性化を



次世代へのまちづくりの推進を共に

今後の動きは。

市長 各審議会の審議結果を踏まえ、慎重かつ円滑に再提案を目指す。

問 新規整備と既存施設の活用案との比較検討は。

市長 既存施設の初期費用の試算は約20億円。新規整備と比べ初期費用は低い。既存施設の活用は有利な起債活用も難しく、実質負担は既存施設の方が、高くなる可能性がある。

一般質問



政 溪 会

のぎのりたか
野木教貴

録画配信は
こちら



問 「スクールバス等通学支援事業」の検証と課題、事業の継続と拡充の考えは。

教育長 対象期間中に下校中の熱中症による重大な事案の報告がなく、児童の疲労軽減にも効果があつた。保護者からも「猛暑日の心配が減りました」という声が多く聞かれ、好評であつた。一方で、運行できるバス台数の限界や、ピストン運行による負担増加などの課題があつた。

事業の継続・拡充については、効果と課題、運行体制や財政負担、地区間の公平性を総合的に勘案し、現時点では対象地区や期間を一拳に拡大することは難しいが、必要な改善を加え継続していく方針である。

問 夏季における安全・安心な登下校環境の確保について、

夏季の登下校、暑さから子ども達を守るには



夏季の登校風景

市の今後の方向性は。

教育長 登下校を含む安全対策を一時的な対応ではなく継続的な仕組みとして位置づけることが重要だ。

具体的には、毎年の夏季終了後に熱中症による体調不良の発生状況や保護者からの意見などを把握し、翌年度に向けた改善点を検証して柔軟かつ継続的に対策を進めていく。

一般質問



政 溪 会

よしおか まさかず
吉岡正一

録画配信は
こちら



問 住民自治とは。

市長 住民が主役となつてまちづくりに参画し、住民福祉が向上していく歩みを進めていくこと。

問 市長の考える市政とは。

市長 経世済民である。誰も置き去りにせず、苦しみに寄り添い支え、福祉・産業の環境を整えることが政治、そして住民が主役の自治と協働でまちづくりを進めることが市政である。

問 市長の市政運営とは。

市長 市民の声を聞いて地域生活の現場に密着して、地域活力を育んで、自立、展開していくまちづくりを創り上げていくこと。

浅茂川温泉プール

問 将来のまちづくりビジョンと市の掲げる百歳長寿、市民の健康づくりには公営プー

市長の政治姿勢と市政運営を問う



閉鎖された浅茂川温泉「静の里」

ルが必要ではないか。

市長 生活習慣病予防、認知機能維持向上、医療費抑制など効果が期待できるが、プールの必要性は整理中。

問 網野地域は高速道路の延伸で遊漁船客、移住者、二地域居住者、企業進出が期待され、魅力的な地域とするには公営プールが必要不可欠ではないか。

市長 利用できる環境をどう整備するかで判断する。

一般質問



政 派 会

い け だ け い ち
池 田 恵 一

録画配信は
こちら



問 今回の都市拠点の整備にあたって、多くの市民の方から反対の声を聞いた。市民の声をどのように施策に反映しているのか。

市長 優先順位は市長の公約に基づいて提案するものと各部署から提案するものがある。いずれにしても各部署で事業効果や財源など制度設計を行い、予算要求をしていく。

問 市長の所に直接要望に行くと、補助金がついたという声を聞くが。

市長 私どもの所に来たらどうこうということはない。緊急影響の大きさなど総合的に市役所として判断させていただいている。

問 今後のインフラ整備方針

峰山クリーンセンターは、耐用年数がくるとのことだが、

施策について市民の声を聞いているか



どうする峰山クリーンセンター

新設の場合と改修の場合の経費は。

市長 新設の場合、令和9年度発注で251億から301億。現施設の延命化の場合、現時点で50億、令和9年度の発注で70億を見込んでいる。

問 地元の合意は。

市長 関係4地区とも協定を締結している。再延命化も一つの選択肢として、関係地区には伝えている。

一般質問



日本共産党

た な か く に お
田 中 邦 生

録画配信は
こちら



問 公共交通対策として、公共ライドシェアなど「ドア・ツー・ドア」の施策に注目し期待している。公共ライドシェアやモビの運行実績や課題を明確にし、より使いやすい事業とすべき。

また、京丹後市地域公共交通計画では令和10年度に公共交通の空白地対象人口をゼロにするとしている。しかし、交通弱者の実態から計画を前倒して実施する必要があるかどうか。

市長 合併時、公共交通の空白地対象人口が1万1800人であった。現在では22行政区で1621人である。11月1日から新たに久美浜町全域と浜詰周辺地域を対象とした公共ライドシェアを運行した。利用は32人と少ないが、利用者から「安くて病院への通院

公共交通空白地対象人口ゼロを前倒して実現すべき



公共ライドシェア運行の出発式、久美浜駅前

など大変便利で継続してほしい」と感想が届いている。

利用促進に、新たな乗降ポイントを増設し、広報チラシやケーブルテレビなどで市民に周知している。

公共交通の利用が困難な地域があり、関係事業者や市民の協力を得ながら運行エリアの拡大をすすめ、公共交通網の整備を促進する必要があると考える。

一般質問



日本共産党

はしもと こと
橋本まり子

録画配信は
こちら

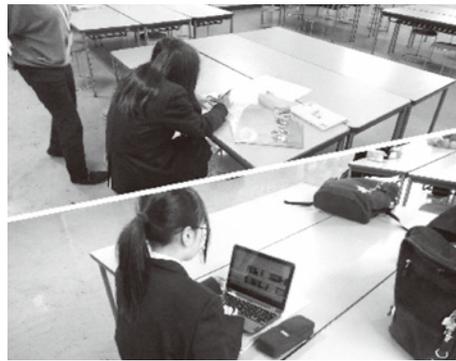


問 現在市内中学校の部活動は全入制である。教育効果と安全確保の利点がある一方、選択の自由や余暇の権利を制限する課題もある点から全入制を見直し、学校の部活動に入らない選択肢を広げる考えはあるか。

教育長 部活動は子どもの自主性を伸ばす場であり、「入りたいから入る」「やりたいことに挑戦できる」という形に近づけたい。ただし、希望制にすると競技種目によっては人数不足が生じる懸念があり、拠点校方式や合同チームの移動手段の確保など、課題は多い。地域部活動検討会・校長会、競技団体と連携しながら「緩やかに全入制を外していく」ことを検討中。

問 代替として、軽運動や自主的な活動を行う、仮称「ゆ

中学部活動の全入制見直しと「ゆる部活」の創設を



やりたい気持ちが部活になる場所

る部活」の創設は考えられないか。

教育長 必要性は認識している。市内ではすでに、生徒が興味に応じて自由に活動できる「アートフロンティア部」が設置されており、探究的な学びを広げた取り組みとして、いわゆる「ゆる部活」の方向性と通じる。今後、他校展開や運営方法などを検討する。

一般質問



日本共産党

ひらばやし ち えみ
平林智江美

録画配信は
こちら



問 分ければ資源、燃やせばゴミと言われる。消費者として、食品ロスを減らすため、適量を購入して買すぎを防ぐなど啓発が必要であるが。

市長 広報誌や、SNSを活用した情報発信など啓発活動を進めている。

問 生ごみの減量のため、畑に埋めるなどしているが、クマ騒動で生ごみの処理に困っている。段ボールコンポストなど市の取り組みとして、普及させてはいかがか。

市長 実際にされている自治体を参考にし、市として、何ができるか考えながら進めていきたい。

問 切れ目のない発達支援を

専門医へつなぐ待機が長く深刻な課題があるが。

食品ロスの削減でごみ減量の取り組みを



生ごみ処理にコンポスト

市長 児童精神科医の不足などが主な原因である。丹後保健所で行われている子どもクリニックは、約3カ月程度の待機と聞いている。課題認識はもっている。

問 保護者としては、一日でも早く専門医の診断を願っているが。

市長 関係機関との情報共有・連携など、環境調整に取り組む。

一般質問



日本共産党

みなもと しんいち
源 進一

録画配信は
こちら

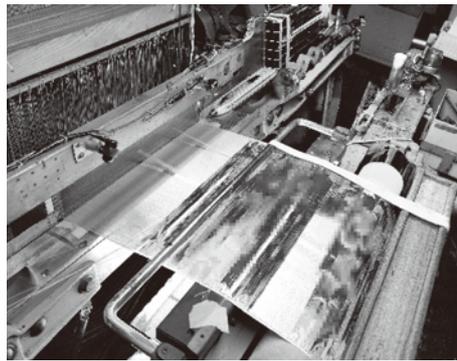


問 丹後絹織物業最低工賃の改定は12年ぶりとなる。前回の最低工賃発効後の調査やアンケートの結果は。

市長 丹後ちりめんの工業組合による平成27年の調査では、工賃改定について、知っているとの答えがあるものの、計算方法については「知らない」との声もある。さらに京都労働局の調査では最低賃金未満の割合が品目によって56%という状況である。

問 丹後の賃織り業者、西陣の織物業従事者が安心して次の世代へ伝統産業、技術を伝えていくことに対して、行政としてできることはあるか。
市長 最低工賃改定は伝統と技術を次の世代につなぐためにも意義がある。京都労働局、西陣、丹後織物業工業組合など関係機関と連携して最

12年ぶりの最低工賃改定、行政としてできることは



ヨコ糸1本ずつ織り込まれていく

低工賃の順守という方向になるかと思う。できる限りの取り組みは行いたい。

問 賃織り業者の実態はどうか。

市長 子どものいる業者の一例では、月曜から土曜日まで毎日夜8時過ぎまで働くが、子育てするには経済的に厳しい状況の声もある。

一般質問



翔 和 会

やまもと ゆうた
山本 佑太

録画配信は
こちら



問 初診待機期間における保護者の心理的負担をどう捉え、どのような支援を行っているか。

市長 発達相談は1年間で14件から44件に急増。保護者の大きな不安の表れと受け止め、待機期間中でも専門職が家庭での関わり方を助言し、療育・医療・こども園や学校へ継続的につないでいる。

問 初診待機期間におけるさらなる支援の拡充を。

市長 待機期間の短縮に努めると共に、診断を待つ間も発達支援相談などの施策で懸命に支え続ける。こども園・病院との連携強化やオンライン活用も含め、当事者の安心につながる切れ目のない支援に取り組む。

発達に悩む親子を孤立させないための支援を



こども部では幅広い相談に対応

市民参画を強める戦略的広報の推進

問 戦略的広報とオープンデータをどう活用するのか。

市長 若者への発信は最重要。スマホやSNSを主軸に、若手職員の感性も生かした共感を生む発信へ改善する。また、単なる閲覧数だけでなく、市民の反応や認知度を重視した指標づくりを進める。あわせて人口などの市のオープンデータ公開を進め、官民連携の基盤づくりを図る。

一般質問



翔和会

たがのかずひこ
多賀野一彦

録画配信は
こちら



問 直近の市立病院（弥栄・久美浜）の経常収支は。

市長 弥栄は令和4年度が赤字、5・6年度が赤字。久美浜は令和4・5年度が赤字、6年度が赤字である。

問 本市病院経営強化プラン終期（令和9年度）までに、病床利用率88・2%の目標が到達できなかった場合、病床の削減を行なうのか。

市長 国は効率的な医療提供体制のため減床を推奨しているが、国・府の動向には注視しつつも、現時点での削減は考えていない。

問 同じくプラン終期までに経営の黒字化ができなかった場合、①独立行政法人化②地方公営企業法の全部適用③指定管理者制度の導入④民間移譲などへの移行を検討しているが。

市立病院の現状と今後の方向性は



厳しい経営状況の両市立病院

市長 全国状況も含め大変厳しい環境だが、国の支援の動きと、たゆまぬ自助努力で変化の兆しも見える中、全力で黒字化を目指す。

問 今後の市立病院の方向性と久美浜病院の整備は。

市長 財政全般の問題はあるが、市からの支援の中、企業会計の維持が重要だ。その中、整備は規模などを詰めていく必要があるが、進めていく方向は変わらない。

一般質問



翔和会

ゆりあきもと
由利彰基

録画配信は
こちら



問 京丹後市の部活動の教育意義とは。

教育長 自主性や達成感、友情を育み、人間関係の形成と豊かな人間性を育む基礎と位置づけている。

問 近年、部活動の時間が縮小傾向にあると感じるが、教育的意義は果たされているのか。

教育長 下校の安全確保と教員の勤務是正が縮減要因だが、限られた時間内であっても、目標と役割を明確化した質の高い活動で、教育的意義は維持している。

問 貸し切りバスの単価が高騰している。校外での合同練習や試合の機会が縮減するのは、

市長 部活動の意義は極めて重要であり、財政的理由により機会が損なわれることのないよう、適切に対応していく。

夢を育み、未来へ羽ばたく京丹後の部活動へ



仲間と共に夢へ挑む生徒たち

地域展開から見える部活動の未来

問 生徒数の減少を見据え、「専門性の部活動」と「軽運動部」の二本立てを導入する余地はあるのか。

教育長 検討会での議論や各校の状況を踏まえ、柔軟な部活動形態を一つの有力案として学校の意見も聞きながら可能性を検討する。

一般質問



無会派

ながい ともあき
永井友昭

録画配信は
こちら



問 増築棟など市庁舎の整備に伴って職員駐車場が遠くなった。職員にとっては労働環境が悪化しただけという状況になっているが、市の認識は。

市長 他市では駐車場のないところもあり本市が特に遠いわけではない。また配慮すべき職員には対応している。

問 文化会館900m、吉原グラウンド1km、往復毎日24分、年間で1人96時間、現状の80人利用で年に7680時間。有料で駐車場を借りている人も相当数おられる。夏は朝から30℃を超え、冬は雪も積もる。大変な負担である。改善について何も検討しないのか。

市長 庁舎整備に合わせ吉原グラウンドを整備した。対策は現在特に考えていないが、

職員駐車場が遠い。何か対応できないのか



遠くに市庁舎の見える文化会館駐車場

職員の声も聞きながら検討はしていきたい。

問 本市は「日本一働きがいのある職場づくり」を掲げているが、これでは士気に関わる。市長の見解は。

市長 同じ思いであるが、とにかく場所がない。問題意識を持って今後も向き合いたい。

一般質問



無会派

まつもと しょうじ
松本聖司

録画配信は
こちら



問 令和7年4月からの第3次定員管理計画の策定により、令和10年までの9年間、職員の定数が横ばいとなる。人口が減る中で職員維持は市民にとってメリットもあるが、施設などの更新・修繕費用や、補助金など抑制しないといけない関係にある。このことをふまえて市民とのコンセンサスがあるといえるのか。

市長 合併当初の定員適正化計画で定員の削減を進めてきた。今回の計画で多様化複雑化、高度化する行政課題に対応する人員を確保している。また、条例に基づいて計画を公表している。

問 総務省は自治体の定員管理の参考指標として3つのモデルを示してきた。市は類似団体別職員数を示している。その中では、人口1万人あた

定員管理計画は市民との合意形成はあるのか



日々にぎわう市役所窓口

り44団体中41位である。市民に誤解を与えないか危惧している。

市長 職員数は、類似団体モデルでは125人。定員回帰指標では79人。市独自の要素を加えた定員モデルは16人超過であり、ほぼ平均と受け止めている。また、人事院勧告に伴う、交付税措置の支援を引き続き求めていきたい。

一般質問



無 会 派

なるみ まさのり
鳴海公軌

録画配信は
こちら



問 2032年に予定する新クリーンセンターの整備費が最大約300億円に膨らんだ。新設より現施設の延命化、広域化を模索するのが良いと考えるが。

市長 延命化も含め検討するが立地地区との協定がある。仮に新設となっても広域化協議は継続する。

海ごみの資源化に向けて

問 増加する海ごみを、対馬市のように資源として売却する仕組みを導入し、持続可能な処理体制へ転換すべきだ。また、海ごみの多くは本市が排出したのではなく、国際的課題であり、資源化に向けた取り組みにも国の支援を求めべきだ。

市長 まずは新最終処分場では破碎による減容化を可能

クリーンセンター整備費300億円の可能性



現在の峰山クリーンセンター

にする。資源化も今後は検討する。国への財政支援要望も他市町の共感を広げている。

財政圧迫によるまちづくりへの影響

問 財政圧迫は必至だ。箱物の都市拠点建設は、クリーンセンター整備を乗り越えてから実現可能性を高めて議論を進めるべきだ。

市長 財政は厳しいが、都市拠点施設は市全体のために必要だ。

賛否一覽

賛否の分かれた案件を記載しています。

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除》
中野勝友議員は議長職のため表決権はありません。

案 件	議員名	議案の可否	政 派 会							日 本 共 産 党			翔 和 会		無 会 派						
			谷津 仲幸	池田 恵一	小牧 裕幸	櫻井 祐策	野木 教貴	東田 真希	吉岡 正一	和田 晋	田中 邦生	平林智江美	橋本まり子	源 進一	多賀野一彦	山本 佑太	由利 彰基	佐久間仁美	永井 友昭	鳴海 公軌	松本 聖司
京丹後市丹後半島森林公園の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
京丹後市火災予防条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市網野高齢者すこやかセンター条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京丹後市立保育所条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
京丹後市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
京丹後市久美浜総合交流販売施設の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
京丹後市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和7年度京丹後市一般会計補正予算（第8号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和7年度京丹後市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和7年度京丹後市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和7年度京丹後市水道事業会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和7年度京丹後市下水道事業会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

3常任委員会「政策提言」

今回は、委員長報告を受けて議員同士が意見を交わした「政策討論会議」の様子を、簡潔にご紹介します。

文教厚生・総務・産業建設の3つの常任委員会は、現場の声とデータをもとに議員同士で意見をぶつけ合いながら、年度末の政策提言とりまとめに向けて議論を続けています。

今後、これらの提言が市の新たな施策に反映されるよう、さらなる議論を重ねていきます。



議員間討議の様子

◎ 文教厚生常任委員会

「**子どもの権利を尊重し、まち全体で子育てを支援する条例(仮称)**」の制定を市に求める政策提言の骨子案が示された。当初の理念条例から、より実効性を重視した総合条例を目指す方針転換の経緯が説明されたが、複数の議員から提言項目の一部が具体的すぎることや、**条例の根幹である「子どもの権利条約」**の基本原則の記述が希薄であるとの意見があり、内容を再検討する意向が示された。



橋本文教厚生常任委員長



和田総務常任委員長

◎ 総務常任委員会

「**消滅可能性自治体からの脱却**」をテーマに、若年女性の市外流出問題に着目。ジェンダーギャップ解消を経済・人口政策の基盤に位置付けるべきとの結論に至った経緯について報告された。提言の第一歩として、まず**行政内部の意識改革と、客観的データに基づく政策立案を可能にするための組織体制整備**に焦点を絞る方針が説明された。

◎ 産業建設常任委員会

「**人材不足・雇用問題**」をテーマに、特に大学との連携強化を通じた若者の人材確保策について中間報告が行われた。年間700名以上の学生が参加する「夢まち創り大学」事業と市内企業の雇用が結びついていない課題がある。**大学のキャリアセンターなどとも新たな関係構築ができないか**、検討していることが示された。



櫻井産業建設常任委員長



令和7年11月開催 峰山町・大宮町・網野町で開催

市民と議会の懇談会



- 9月定例会の概要報告
- 市制に対する提言、議会活動などについて意見交換

懇談テーマ：「子育て支援施設について」

懇談会の参加者のご意見などを掲載しています。カフェ方式（自由に対話のできるグループ形式）で行い、懇談会で出された意見や要望は必要に応じて各常任委員会で所管事務調査をするなどの対応を行います。



峰山会場

こちらから
ご覧になります



◎ その他のご意見

都市拠点整備事業について各町で行われた市民との公聴会で発言された各町での意見を知らせてほしい。

意 お金だけでなく、人づくり・地域づくりの視点が重要だと思う。
意 地域と人のつながりを大切に、気軽に行ける居場所づくりを。誰もが使える複合施設に期待する。空き施設活用や大型施設での一括支援も検討を。
意 公民館などを活用し、三世代交流や子ども食堂などの「よろずや型」施設にしてほしい。

峰山会場

◎ その他のご意見
いつもは子どもがいて来られないが、事前に託児スペースがあることがわかり、参加することができた。

意 子育て支援施設との検討なら、病後児保育の要素も含め行政サービスが身近で安心して預けられ働ける環境を提供してほしい。

意 祖父母と夫婦、子どもで複合施設を利用するが、施設内で祖父母は子どもが遊ぶ姿を見ながら食事ができる。そういった施設は今後必要だと思う。
意 立派な施設でなくても良いのではと思う。



大宮会場

大宮会場



網野会場

◎ その他のご意見
懇談会の開催場所や時間、回数を見直し、多くの人が参加できるようにしてほしい。

意 京丹後市は広く学区や地域によって意見が異なる。意見の吸い上げをしつかり行うことが大切。
意 京丹後市ならではの魅力あるコンテンツを確立させ、オリジナリティを出す必要がある。
意 子育て支援のカギは新コミュがどのようになれるか。既存施設を利用して身近に手軽に利用できる場所が欲しい。

網野会場

議会の

調査結果報告



問 クマ、シカ対策はどうなっているか。

答 ① 増えすぎた個体数を捕獲 ② 農地の防護 ③ 獣を引き寄せる環境を作らない。3つの視点から総合的に対策を実施。

問 久美浜放課後児童クラブの教室が児童数に比べて手狭に感じる、活動に影響しているのではないか。

答 担当課が現地確認。すぐに使用しない物の移動、備品の配置、使用方法見直しなどの工夫で、児童の安全に配慮した環境改善をした。

◆ 次回開催

令和8年5月

開催予定

皆様のご参加

お待ちしております



峰山町 近藤 浩司

私がスポーツ推進委員として活動を始めてから、気がつけば25年が過ぎました。この間、地域の皆さんと一緒に体を動かし、笑顔や元気が生まれる場づくりに関わらせていただいたことは、私にとって大きな励みとなっています。とりわけ、近年取り組んできたノルディック・ウォーキングの普及では、ポールを手に散歩を楽しむ姿を市内のあちこちで見かけるようになり、少しずつ地域に根づいてきたことをうれしく感じています。

スポーツ教室などの参加者は、子どもから高齢者まで幅広いため、目標を大きく掲げるのではなく、小さな目標を一つひとつ達成することで笑顔が積み重なり、楽しく体を動かすことが継続への第一歩となります。

そして、参加者の皆さんの笑顔を引き出せたときこそ、指導者としてこの上ない喜びを感じる瞬間であり、する側も教える側も「楽しい」と感じられることが何より大切だと思っています。

委員会では、仲間と相談しながら事業を進め、誰もが参加しやすい活動となるよう工夫を重ねてきました。スポーツには、健康づくりだけでなく、人と人のつながり

を広げ、暮らしを前向きにしてくれる力があります。これからも、地域の皆さんが無理なく楽しめるスポーツ環境を整え、身近な運動の輪がさらに広がるよう、私自身も学びを続けながら活動を続けていきたいと考えています。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

長年の活動を通して感じるのは、小さな一歩でも続けることが、地域全体の活力につながるということです。講習会や研修会で学んだことを生かし、若い世代や運動に不安のある方にも寄り添い、それぞれのペースで参加できる機会をつくっていききたいと考えています。スポーツが日々の生活の中に自然と溶け込み、「ちょっとやってみよう」と思える場づくりを通して、「市民が楽しみとものつくる スポーツのまち」をめざしていきたいと思います。



令和7年度スポーツ推進委員
功労者表彰を受賞



地域に寄り添い、スポーツの輪を
広げる推進委員

afterword

あ と が き

年々、月々に時間の過ぎるのが早くなるように感じますが、「ジャンネーの法則」はご存じでしょうか。人生に占める一年間の長さの割合が、5歳の子どもでは20%、50歳の大人では2%と相対的に減っていくため、加齢と共に一年経つのが早く感じるという話です。

そのため、挨拶や話が冗長になりやすいとのこと。気を付けたいです。また、充実した時間を過ごすために、日々の生活の中で新しい体験にチャレンジし、体感時間を延ばしていきたいです。

早いと言えば議会改選から一年半が経過しました。市民福祉の増進にさらに寄与する取り組みとして、議会からの政策提言を進めています。途中経過を議会だよりに掲載していますのでご一読ください。



- ◎ 広報編集委員会
- (前列右から)
- 委員 永井 友昭
委員長 松本 聖司
副委員長 東田 真希
委員 谷津 伸幸
委員 (後列右から) 小牧 裕幸
委員 山本 進一
委員 源利 彰基
委員 山本 佑太

